

# 住まいのおしゃべり広場

2021年6月 発行

末政建設株式会社 第74号

## 目次

1. 一番星、見い〜つけたあ！
2. 『チャコの家』ショールームリニューアル！
3. 気になる新商品！
4. 太陽光発電セミナー  
・「ハウスナリー」  
無料配布中

## <初挑戦の山登り！>

今月中頃から梅雨らしいお天気となり、時々どんよりとした日がありますよね。この時期、気分まで下がらないよう休日はアクティブに過ごそうと体を動かしています。

去る5月30日には、以前から挑戦したかった鯖江市の三床山に行ってきました。20年位前に近くの鷹取山の中腹まで登った以来なので、初心者向けの山を選びました。登りや下りを繰り返し進む中、急勾配の登りは息が上がり足はガクガクに。しかし時折聞こえる鶯の鳴き声や同伴してくれた子供達の励ましのお陰で無事頂上まで辿り着けました。頂上からの景色は疲れも吹っ飛び、とても清々しい気分。

自粛生活が続く中、たまには新しい事に挑戦するのもいいもんですね。(hiroe)



## 一番星、見い〜つけたあ！

東京2020オリンピック聖火リレー



坂井市ランナー

ふるたに てるみ

丸岡町長 畝

古谷輝美さん

7月に開催予定の東京2020オリンピックの聖火リレーが3/25福島県からスタートし、5/29、30に福井県を縦断しました。そのランナーに弊社の協力業者で左官業の古谷輝美さん(68歳)が、30日の17時頃、地元である坂井市丸岡町の丸岡城〜丸岡運動公園間のアンカーを努め、多くの声援の中、完走されました。

聖火ランナーになるには、2019年の夏に4つの企業と各都道府県の実行委員会のいずれかに志望動機や意気込み等を書いて応募します。古谷さんは福井県の実行委員会に応募し、厳正なる審査の上、坂井市代表として選ばれました。その倍率は約65倍だったそうです。

古谷さんは1964年の東京オリンピックを見て陸上を始めましたが、中学1年の時の校内マラソン大会で優勝出来なかった悔しさから本格的に陸上競技に打ち込み、国体やインターハイに中距離選手として出場する事ができました。また結婚後は、陸上やスポーツの楽しさを多くの方に知ってもらいたいと丸岡陸上スポーツ少年団で13年間指導を行い、同時に地域の体育指導員も30年間されてきました。

今回の聖火ランナーは「自分の人生の集大成」と思い応募され、当選通知が届いた時は嬉しくて子供みたいに跳び上がって喜んだそうです。そして本番までは、体調に気を付けながら体力作りに励まれました。

本番当日はお天気にも恵まれ、多くの方々が沿道に並び拍手で盛り上げる中、手を振り笑顔で声援に応えながらゴールしました。「想像以上の人で、嬉しかったけど緊張したわ〜。応援に来て下さった方に感謝の気持ちでいっぱい、沿道の両側を交互に向いて『ありがとう』と言いながら走ったけど、知り合いがどこにいるかわからなかった」と。いつも落ち着いた感じの古谷さんでもよほど緊張なさったのでしょうか。しかし素晴らしい経験と良い思い出が出来たと喜んでいらっしゃいました。

今後も末永くお元気でますますのご活躍を期待しております。(hiroe)

